

2020年6月21日(日) 狭山キリストの教会 礼拝説教

テキスト：1コリント 12章 4節～11節

タイトル：「御霊の働き—「あなたの賜物は何ですか？」

マルコ 10:45 人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」

- キリストの生涯を端的に現わす二つのワード：**to serve, to give**

私たちは_____とき、最も幸せを感じる！

- 仕える中に私たちの人生の本来の生き甲斐がある！人生の喜びは、人に仕え、与える中で得られると主イエスは教えられた。

使徒の働き 20:35 『受けるよりも与えるほうが幸いである。』

人生のパラドックス：

仕え、与えることによって自分本来の人生を見出す。

ヨハネ 12:24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。25 自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世でそのいのちを憎む者はそれを保って永遠のいのちに至るのです。

「御霊の賜物」とは_____ために神が備えて下さった能力

1ペテロ 4:10 それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、互いに仕え合いなさい。

賜物の多様性と統一

1コリント 12:4 さて、御霊の賜物（カリスマ）にはいろいろの種類がありますが、御霊は同じ御霊です。5 奉仕（ディアコニア）にはいろいろの種類がありますが、主は同じ主です。6 働き（エネルギー）にはいろいろの種類がありますが、神はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。

御霊の賜物の目的は？「みなのも_____となるために」

1コリント 12:7 しかし、みなのも益となるために、おのおのに御霊の現われが与えられているのです。

- キーワード：「みなのも益となるために」
- 「教会の徳を高めるため」（1コリント 14:3, 4, 5, 12, 17, 26）

すべては神の_____のため

御霊の賜物は何らかの方法でキリストを表し、キリストを賛美し、キリストを示し、キリストを伝える能力である。賜物は正しく用いられるなら、キリスト者と教会を建て上げる。（J.I. パッカー「聖書の教理がわかる 94章」p. 279）

ひとりひとりユニークな御霊の_____が与えられている

1コリント 12:7 しかし、みなのも益となるために、おのおのに御霊の現われが与えられているのです。

- φαίρωσις (ファネローシス) 現れ、the manifestation (現れ、表明、出現)
- 参照：φανερόω *reveal, make known, show* (表す、明らかにする、示す)。

たとえばどんな賜物があるのか？

1コリント 12:8 ある人には御霊によって知恵のことばが与えられ、ほかの人には同じ御霊にかなう知識のことばが与えられ、9 またある人には同じ御霊による信仰が与えられ、ある人には同一の御霊によって、いやしの賜物が与えられ、10 ある人には奇蹟を行なう力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。

ローマ書 12:6 私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているので、もしそれが預言であれば、その信仰に応じて預言しなさい。7 奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教えなさい。8 勧めをする（慰める、励ます）人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する（治める）人は熱心に指導し、慈善を行なう人は喜んでそれをしなさい。

賜物にはふたつの型がある。つまり、話すことにかかわる賜物と、愛すること（実際的な助けになること）にかかわる賜物がある。ローマ人への手紙 12章 6節～8節でパウロが一覧表に挙げている賜物は、両方の種類のものが交互に書かれている。預言、教え、勧めは話すことにかかわる賜物であり、奉仕、分け与えること、指導、慈善は助けになることにかかわる賜物である。賜物が交互に挙げられているということは、ある賜物が他の賜物よりも勝っているという考え方が入り込む余地がないということを示唆している。（J.I. パッカー「聖書の教理がわかる 94章」p. 280）

「みこころのままに」：主の_____

1コリント 12:11 しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。

マタイ 25:15 彼は、おのおのその能力に応じて、ひとりには五タラント、ひとりには二タラント、もうひとりには一タラントを渡し、それから旅に出かけた。

私たちの責任は？

マタイ 25:18 ところが、一タラント預かった者は、出て行くと、地を掘って、その主人の金を隠した。

賜物と与えられていないクリスチャンはひとりもいない。したがって、神が奉仕のために与えてくださったどのような能力であっても、それを見出し、成長させ、十分に用いることは、私たちひとりひとりの責任である。（J.I. パッカー「聖書の教理がわかる 94章」p. 280）

- 賜物があるとき奉仕に喜びを感じ疲れぬ。